

令和6年第3回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和6年9月定例会

順序	議員名	要 旨
1 番	五十嵐 信子	1 認知症施策の推進について 【質問のねらい】 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され9ヶ月が経過した。町は、認知症基本法の成立を受け努力義務化とされている基本計画の検討は進んでいるのか伺う。 【質問項目】 (1) 認知症施策推進基本計画の策定における進捗状況を伺う。 (2) 認知症の人に寄り添う「ユマニチュード」というケアの技法の見解を伺う。 (3) 認知症ケアとしての「ユマニチュード」の周知へ町民講座など開催してはどうか。 (4) 家族介護者や病院・介護施設などの職員を対象とした研修も促進してはどうか。 2 自主防災組織の体制の整備と育成について 【質問のねらい】 町の地域防災計画において自主防災組織の意義や活動についても示されているが現場においては浸透しておらず、非常時や災害時に機能されるのか危惧されている。 【質問項目】 (1) 実際に災害が発生した際には初期活動の防災体制として非常に重要な組織と認識しているが、行政と自主防災組織との連携について現状を伺う。 (2) 自主防災組織の構成員や協力員は交替もあり、引継ぎなどのマニュアルもなく現場には問題や課題がある。自助・共助としての課題解決に向けて行政の見解を伺う。 (3) 今年は防災訓練を検討しているようだが、自主防災組織も機能できるような訓練は考えられるか伺う。また、避難所運営マニュアルの見直しや施設ごとの周知はどのようなになっているのか伺う。 3 ボランティア体験講座について 【質問のねらい】 「誰かの力になりたい」・「みんなの力になりたい」と、小さな思いがあっても何から始めたら良いかと一歩踏み出せない方への後押しがあると活躍の場が広がると考える。 【質問項目】 (1) ボランティアセンターは、ボランティアに興味のある町民とボランティア団体をコーディネートし、団体がどのような活動を行って

		るのか体験できる機会を設けてはどうか伺う。
2 番	芳形 幸夫	1 帯状疱疹ワクチン接種について 【質問のねらい】 帯状疱疹の発症や重症化を防ぐワクチンの接種費用の公費負担を要望するが、見解を質す。 【質問項目】 (1) 発症率が年々高まっている帯状疱疹、発症者は治療に苦慮されていると聞いている。発症や重症化を防ぐワクチン費用は高額で、道内 67 市町村がすでに助成を実施している。厚労省の審議会が定期接種化検討も時期は未定、当別町についても公費負担の検討を要望するが見解を伺う。 2 訪問介護事業所への支援について 【質問のねらい】 訪問介護報酬の改定を受け厳しい運営が強いられている訪問介護事業所、町内の訪問介護事業所への抜本的な支援を行うことが必要と考えるが質す。 【質問項目】 (1) 政府は介護報酬改定を 4 月から実施、処遇改善加算と特定事業所加算を取得することにより訪問介護の基本報酬引き下げがあっても全体はプラスというが実態とかけはなれている。事業所の加算要件達成が簡単でなく、仮に加算要件が達成となったとしても厳しい運営状況と聞いている。このような状況から町内の事業所について、抜本的な支援が必要と考えるが見解を伺う。 3 生活保護費の級地引き上げについて 【質問のねらい】 札幌の隣町でありながら当別は 3 級地の 2、生活実態に差がなくなるなか国に実情に見合った級地引き上げを求めるべきと考えるが見解を質す。 【質問項目】 (1) 当別は札幌の隣町であり生活水準に大きな差はないと考える、ところが札幌は 1 級地の 2 で当別は 3 級地の 2 となっている。実情に見合った級地適用を求めるべきと考えるが、町として早期実現に向けた取り組みを強化する考えはあるか見解を伺う。 4 自衛隊への名簿提供について 【質問のねらい】 自衛隊への名簿提供に関して、個人情報保護の観点から適切な対応といえるのか見解を質す。 【質問項目】

		(1) 自衛隊への名簿提供に関して、町は個人情報保護法についてどのような認識を持っているのか伺う。 (2) 自衛隊への名簿提供に関してはこれまでは閲覧であった。今年度、閲覧から提供に変更したとその理由と経緯を伺う。 (3) 「自衛隊への情報提供を希望しない方へ」のお知らせは、広報に2度掲載されたのみであった。18歳未満を含む当事者への周知は十分ではなかったと考えるが見解を伺う。 (4) 次年度以降は、名簿の閲覧に戻すべきと考える。仮に提供するのであれば、当事者一人一人に同意を得る必要があると考えるが見解を伺う。
3 番	山崎 公司 (資料有)	1 スウェーデン大通の整備を 【質問のねらい】 サツドラ、西当別支所がオープンし、以前にも増して交通量が増加、地域の重要な道路となっている。以前にも整備改善を要求しているが今後の課題について質す。 【質問項目】 (1) 日中の交通量について、歩行者・乗用車及びバス・トラックも通行している。歩車道及び区画線も含めた整備が必要と思うが伺う。 (2) 歩道の電柱や植樹は、強風で倒れ除雪作業の障害になる。無電柱化は電柱倒壊の危険がなくなり歩道幅が広がり、防災・交通確保・景観形成、観光振興などの面でメリットがある。無電柱化を実現できないか。 (3) 大通に面した空地の草刈り及び敷地からはみ出した樹木について所有者に対しどのような対策を講じているのか伺う。 (4) サツドラ・支所の設置などで、交通量が増加している。横断歩道の設置は検討しているか伺う。 (5) 大通に面した、雪堆積場の夏場の活用として、公園機能を期待していたがその後どのようなになっているか伺う。 2 郵便料金値上げの対応（コスト増の回避） 【質問のねらい】 10月から郵便料金の大幅な値上げとなる。その引上げ幅は、定形封書84円が110円31%UP、ハガキ63円が85円35%UPとなる。大幅コスト増に対して郵送方法を含めコスト増の回避のための対策を質す。 【質問項目】 (1) 大幅な値上げにより封書・ハガキの郵送に年間どの程度のコスト増になるのか。 (2) 書類等の郵送方法の改善策はないのか伺う。 (3) 節減対策として具体的に町民の協力を得ながらどのような方法を検討しているのか伺う。

		3 道民の森の活用について 【質問のねらい】 『道民の森』は、設置から 30 年以上が経過し、施設の老朽化や道民ニーズの変化などへの対応が課題となっている。新たな魅力を構築し、今後の活用の在り方やその為に必要な施設の整備等の検討と観光の視点を取り入れる事が重要と考えるが町としての見解を質す。 【質問項目】 (1) 道民の森の利用者が減少していると聞いている。利用者が参加出来る様なイベントの開催を検討してはどうか伺う。 (2) 当別町には、道の駅・ロイズ・当別ダムなどの魅力ある施設があり、これらの施設と道民の森をセットにした町内ツアーを企画することで利用者増に繋がると考えられるが検討してはどうか伺う。 (3) イベントやツアーの企画実施に併せ、道民の森と町とで相互に協力し、インターネット等を活用した情報発信を強化することが必要と考えられるが検討してはどうか伺う。 4 チャットGPTの現状について 【質問のねらい】 業務効率化を目指し昨年 2 カ月の実証試験、10 月から全庁で本格的に導入した。1 年経過するが、現状について質す。 【質問項目】 (1) 当初はどのような目標を設定し、現段階ではどのような成果が出ているのか。現在はどのような用途で活用しているか。 (2) 職員の利用割合はどの程度か。また、利用者の情報交換は、随時実施しているか伺う。 (3) 1 年が経過したが、現在、何か課題はあるか。業務改善やコスト削減につながるよう対策されているのか。 (4) 役場内の成果が、町民にどのように反映されているか伺う。 (5) 生成 A I を活用した英語の授業は実施出来ないか伺う。
4 番	佐藤 立 (資料有)	1 子どもプレイハウスなど学校外でのいじめを含めたこどものいじめ対策 【質問のねらい】 いじめ防止対策推進法第 3 条や、令和 3 年 12 月 21 日閣議決定により、こども家庭庁がいじめの防止に向けた地方自治体における具体的な取組や体制づくり等を推進していることを踏まえ、学校外でのいじめを含めたこどものいじめの防止を、学校に過度の負担がかかることがないように実施することも欠かせない視点である。 【質問項目】 (1) 子どもプレイハウスではいじめ防止基本方針を作成しているのか。もしくは、子どもプレイハウスに適用または準用されるいじめ防止基本方針はあるのか。 (2) 子どもプレイハウスのいじめ防止対策は、誰を責任者としてどのよ

		うな組織体制で実施されているのか。 (3) 仮に子どもプレイハウスでいじめが発生した場合、誰を責任者としてどのような組織体制で対応されるのか。 (4) 町、学校のいじめ防止基本方針に、子どもプレイハウスへの言及がないのはなぜか。 (5) 学校と子どもプレイハウスの間で、連携と情報共有は定期的に行われているか。 (6) 令和3年12月21日閣議決定を踏まえ、学校の内外を問わず当別の子どもたちすべてのいじめ対策を統括する責任者を明確にするとともに、学校とは別に専任組織を設ける必要があるのではないか。 (7) 町が配置するスクールソーシャルワーカーは、学校や子どもプレイハウスのほか民間の習い事などを含めて、当別全体の情報共有や連携体制の推進に役割を果たすことができるのか。
5 番	角田 広佑 (資料有)	1 庁舎設備の修繕計画の現状 【質問のねらい】 庁舎新築移転計画の方針転換に伴い役場施設の補修について調査費を予算計上しているが、特に本庁舎の修繕計画の進捗状況について伺う。 【質問項目】 (1) 現在の本庁舎にはエレベーター設置を含めたバリアフリー設備が少なく、上層階への来庁に制限がある現状である。医療福祉関係の事務はゆとろで取り扱うが、それ以外の事務において本庁舎への来庁が必要。バリアフリー法の基準をもとにしたバリアフリー対策について伺う。 (2) 今夏の暑さは昨年よりも幾分和らいだとはいえ、盛夏時期には役場庁舎も高温となり、特に上層階の職員にとっては過酷な状況であったと振り返る。役場庁舎の今年度の冷涼対策の内容を伺う。 2 観光プロモーションの実効評価 【質問のねらい】 町外へのプロモーションやテレビ特番等により、当別町の魅力を発信しているが、その効果はどのようなになっているかを伺う。 【質問項目】 (1) 町では道内外に向けて観光誘致のプロモーションを行っており、交流人口や関係人口の増加に資するものとなっていると考える。特に今年はテレビ番組の特番製作に予算を計上し、より一層の観光戦略を展開している。その効果として、実際にどのくらいの観光客が、当別に来訪しているかを伺う。

【計5人、2時間30分（1人30分計算）】